

科目名		単位数	担当教員	区分
平成26年度以降	商法 I	2	原口 宏房	
平成25年度以前	商法総論	2		
教職	教員の免許状取得のための選択科目			教職
	教科に関する科目(中学校(社会)): 法律学、政治学			
	教科に関する科目(高等学校(公民)): 法律学(国際法を含む)、政治学(国際政治を含む)			
授業の到達目標及びテーマ				言語
<p>企業取引における取引安全の保護と各種企業にみられる特有な制度について理解する。</p>				共通
<p>授業の概要</p> <p>企業の行う取引は営利を目的として、大量に、かつ継続・反復して行われます。このため、その取引は迅速かつ容易に行われる必要があります。しかし、他方で、取引が無効になったり取り消されたりすることは極力避けなければなりません。これは取引の安全性、確実性の問題です。この相対立する要請を共に勘案しながら、商法は、同じく取引に適用される民法と異なる制度を置いています。また、商法は、大量取引を行う典型的な企業取引については、それぞれについて規定を置き責任を加重したりしています。この講義では、このような企業取引について、消費者保護などの視点も加味して概説します。</p>				専門基礎
<p>授業計画</p> <p>第1回: 企業活動と取引の安全 第2回: 普通取引約款 第3回: 使用人概念と商行為概念 第4回: 商業登記 第5回: 商号の保護 第6回: 商号使用許諾者の責任 第7回: 営業譲渡 第8回: 商業使用人 第9回: 商行為の代理と委任 第10回: 商事契約・債権 第11回: 商事売買 第12回: 代理商と仲立商 第13回: 問屋・運送仲立人 第14回: 運送人の責任 第15回: 倉庫営業 定期試験</p> <p>[履修上の注意事項] 講義には小型の六法でもよいので、必ず、携帯して出席すること。</p>				法律一般
<p>テキスト</p> <p>青竹正一『特別講義 改正商法総則・商行為法(最新版)』成文堂</p>				政治行政
<p>参考書・参考資料等</p> <p>関俊彦『商法総論総則(第2版)』有斐閣、近藤光男『商法総則・商行為法(第5版補訂版)』有斐閣、江頭憲治郎『商取引法(第7版)』有斐閣、江頭憲治郎＝山下友信編『商法(商法総則・商行為)判例百選(第5版)』有斐閣</p>				経営法務
<p>学生に対する評価</p> <p>定期試験期間中に筆記試験を行うほか、講義期間中に数回小試験を行う。これらによって評価する。</p>				スポーツ福祉
				演習
				25年度以前
				専門基礎科目